|  |
| --- |
| ３００５．輸出申告変更事項呼出し |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＥＤＤ | 輸出申告変更事項呼出し |

1. 業務概要

「輸出申告（ＥＤＣ）」業務後、許可前に登録内容を変更する場合に、「輸出申告変更事項登録

（ＥＤＡ０１）」業務に先立ち、システムに登録されている輸出申告事項に係る情報を呼び出す。

本業務により大額情報、少額情報相互の切り替えを行うことができる。

２．入力者

通関業

３．制限事項

なし。

４．入力条件

（１）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②輸出申告ＤＢに登録されている申告者と同一であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

なし。

（３）輸出申告ＤＢチェック

（Ａ）申告等番号が輸出申告ＤＢに存在すること。

（Ｂ）輸出申告等がされていること。

（Ｃ）輸出等許可がされていないこと。

（Ｄ）以下の登録がされていないこと。

①「輸出等申告撤回」

②「輸出等申告手作業移行」

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）輸出申告等変更事項登録情報編集出力処理

輸出申告ＤＢより輸出申告等変更事項登録情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（３）大額・少額切替処理

情報呼出識別に「Ｌ」を入力した場合、登録されている情報のうち、大額申告に利用しうる情報を出力する。

情報呼出識別に「Ｓ」を入力した場合、登録されている情報のうち、少額申告に利用しうる情報を出力する。

なお、情報呼出識別に入力がない場合は切替処理を行わず、登録されている大額・少額識別を引き継ぐ。

６．出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 輸出申告変更事項登録情報（大額） | 以下の情報を大額申告用に呼び出す場合  ①輸出申告  ②特定委託輸出申告  ③特定製造貨物輸出申告  ④積戻し申告 | 入力者 |
| 輸出申告変更事項登録情報（少額） | 以下の情報を少額申告用に呼び出す場合  ①輸出申告  ②特定委託輸出申告  ③特定製造貨物輸出申告  ④積戻し申告 | 入力者 |
| 特定輸出申告変更事項登録情報（大額） | 特定輸出申告の情報を大額申告用に呼び出す場合 | 入力者 |
| 特定輸出申告変更事項登録情報（少額） | 特定輸出申告の情報を少額申告用に呼び出す場合 | 入力者 |
| 展示等積戻し申告変更事項登録情報（大額） | 展示等積戻し申告の情報を大額申告用に呼び出す場合 | 入力者 |
| 展示等積戻し申告変更事項登録情報（少額） | 展示等積戻し申告の情報を少額申告用に呼び出す場合 | 入力者 |

７．特記事項

（１）情報呼出識別欄に「Ｓ｣の入力がある場合は、１欄目のみの情報を呼び出す。